施策評価シート 平成28年度 評価対象年度 廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再 施策名 28

政策 施策 28

「宮城の将来 ビジョン」にお ける体系

政策名

11

両立

生利用)と適正処理の推進

施策担当 環境生活部,農林水 部局 産部

評価担当 部局 (作成担当 課室)

環境生活部 (循環型社会推進 課)

資源循環の重要性や3R(発生抑制・再使用・再生利用)の意識が県民や事業者に浸透し, ごみをできるだけ出さない生活様 式,環境に配慮した購買行動が定着している。

経済・社会の持続的発展と環境保全の

環境・エネルギーに配慮した製品設計(DfE)や製品の環境負荷の総合評価(LCA)に取り組む企業が増加している。

廃棄物等の再資源化が促進され、廃棄物の最終処分量が減少するとともに、排出事業者責任の意識が高まり、優良な処理業者 による廃棄物処理が進んでいる。

(目標とする 宮城の姿)

施策の目的

○ 廃棄物の不適正処理が着実に減少するとともに、廃棄物処理に対する住民理解が促進され、県内において必要な廃棄物処理 施設が確保されている。

施策の方向

様々な場面における3R活動を推進するための県民・事業者・市町村等に対する啓発活動を充実させる。

日常生活や事業活動における廃棄物の発生抑制, 再資源化等を促進する。

製品の製造、流通から廃棄までの各段階やサービスの提供に伴う環境負荷低減を促進する。 リサイクル施設の整備など3Rを支える社会的基盤を充実するとともに、リサイクル関連新技術の開発・普及を促進する。

(「宮城の 将来ビジョン •震災復興 実施計画」の 行動方針)

廃棄物の適正処理の推進のための排出事業者等の意識醸成や県民の理解協力の促進と不法投棄等不適正処理の根絶に向 けた監視指導を強化する。

◇ 産業廃棄物処理に関する情報公開の促進などによる透明性の確保に努める。

決算(見込)額	年度	平成26年度 (決算額)	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算(見込)額)	平成29年度 (決算(見込)額)
(千円)	県事業費	475,439	541,360	659,340	_

※決算(見込)額は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で, 判定できない」 目標 ■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値) 指標 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)

等 初期値 目標値 実績値 達成度 計画期間目標値 達成率 (指標測定年度) (指標測定年度) (指標測定年度) (指標測定年度) 1,073g/人·日 930g/人·日 1,007g/人·日 968g/人·日 県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量(g/人・日) 1 С (平成19年度) (平成27年度) (平成27年度) 46.2% (平成29年度) 24.0% 30.09 26.0% 27.9% 2 般廃棄物リサイクル率(%) В (平成19年度) (平成27年度) (平成27年度) (平成29年度) 86.7% 11,172千トン 11,450千トン 10,576千トン 10.501 壬トン 3 産業廃棄物排出量(千トン) Α (平成19年度) (平成27年度) (平成27年度) (平成29年度) 107.6% 29 9% 35.0% 31.0% 40.2% 4 産業廃棄物リサイクル率(%) Α (平成19年度) (平成27年度) (平成27年度) 129.7% (平成29年度)

施策評価 (原案)

やや遅れている

評価の理由

・平成27年度の実績値は,4つの目標指標のうち産業廃棄物の排出量及びリサイクル率については,計画期間の目標値を達成したが,一般廃 棄物に係る指標(県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量及び一般廃棄物リサイクル率)は、目標値を達成していない。

-般廃棄物については,震災前までの1人1日当たりの一般廃棄物排出量は順調に減少(平成22年度は968g/人・日)してきていたが,震災 後の平成23年度には1,054g/人・日と増加し、平成24年度は1,027g/人・日、平成25年度は1,025g/人・日と高止まりの状態が続いていたもの の, 平成26年度は1,015g/人・日, 平成27年度には1,007g/人・日と着実に低減している。

日標 指標

・一般廃棄物のリサイクル率については、横ばいの状況が続いているが、平成27年度は26.0%と前年比0.4ポイント改善し、震災後に低下したリ サイクル率(平成23年度は24.3%)の改善傾向は4年連続している。

・産業廃棄物排出量については、震災後の復旧復興工事等の建設工事関連の建設業やその材料を製造する製造業関係からの排出量が減 少したことから,平成27年度は全体として減少している。

・産業廃棄物リサイクル率については、建設工事関連の廃棄物の排出量が減少しているものの、排出量としてはまだ多く、比較的リサイクル率 の高いがれき類の排出量の割合が多い状態が続いていることから、全体としては目標値を上回っている状況が続いている(平成22年度は 30 9%)

・平成28年県民意識調査では、「ごみはいつも分別している」とする割合は、88.4%と高めとなっており、地域別では、沿岸部で90.8%、内陸部で 87.1%と若干の差が出ている。また、「ごみは地域で指定された方法で出している」とする割合も、88.5%と高めとなっており、地域別では、沿岸部 で90.5%, 内陸部で87.5%と同様に差が出ている。

・日常生活の中で行っている3Rに関する取組については、「買い物時は、マイバックを持参するようにしている」とした割合が73.9%と高めであるものの、「まだ使える不用品をバザーなどに出している」とした割合は12.6%、「買い物時は、環境にやさしい商品を選んでいる」とした割合は 12.9%と低くなっているほか、3Rに関する取組を「行っているものはない」とする回答も0.8%あった。

県民 ・全体としては、廃棄物等の3Rに対する意識は前年度に引き続き高い状態は続いていると考えられるが、手間や利便性の問題がある場合は、 意識 3Rに対する行動は限定的になっていると考えられる。

・ごみの処理で身の回りで見聞きしたことについては,「廃棄するテレビなどの家電製品を無料回収業者に引き渡す」が43.6%,「ごみを庭など で燃やす」が31.3%となっている。地域別では,「廃棄するテレビなどの家電製品を無料回収業者に引き渡す」は沿岸部で34.8%,内陸部で 49.0%,「ごみを庭などで燃やす」は沿岸部で19.4%,内陸部で39.3%といずれも内陸部で高くなっている。

・平成28年第4四半期の宮城県経済を振り返ると、東日本大震災の影響のあるなかで生産は持ち直しており、求人倍率は高水準で推移してい る等基調としては緩やかに回復しているものの、住宅投資、公共投資や個人消費等に弱い動きがみられる。

・東日本大震災による県民生活環境や産業構造の変化が続く中,平成28年度は東日本大震災以降続いていた一般廃棄物排出量の高止まり の状態は改善しつつある。

社会 経済 情勢

・また、震災復興が続いている中、製造業の復旧等産業活動の活発化や再生エネルギー事業の普及等により、産業廃棄物の種類、質や排出 量の変化がみられている。

・今後も社会情勢の変化等により廃棄物の排出状況の変動が続くことが予想される。

・市町村等3R連携事業では,市町村等担当者を対象として,ごみの分別及び減量を共通テーマしたワークショップの開催や平成25年度から施 行され4年目を迎えた小型家電リサイクル制度の推進について検討や情報共有を行い,それらを取りまとめることで,市町村間の課題について 共通認識を持つとともに、担当職員のスキルアップにつなげることができた。

・リスタートみやぎの3R推進事業では、小中学生を対象としたポスターコンクール等を開催し若年層を対象とした3Rに対する啓発を行うととも に、県内の小型家電や食品廃棄物の賦存量調査等を行い、それらのリサイクルシステムの構築に向けた基礎資料を作成した。また、事業者の 3R等の取り組みを支援するためのエコフォーラム開催を支援した。

・環境産業コーディネーター派遣事業においては、企業訪問やセミナー開催等により900社程度の支援を行ったほか、みやぎ産業廃棄物3R 等推進設備整備事業ではホヤ殼の堆肥化のための破砕機等, 3Rを推進するための設備補助14件, 再生資源等有効活用推進事業ではコ :一粕を原料とするペレット製造に向けた調査検討等4件,3R新技術研究開発支援事業では新規排水処理技術の開発等の支援6件を行うこ と等により、産業廃棄物の発生抑制・再資源化を促進した。

果等

の成・産業廃棄物不法投棄監視強化事業では、ラジオ広報、スカイパトロール、監視カメラの設置などの不法投棄の早期把握、防止に向けた啓発 活動等を行い、不法投棄及び不法焼却全体件数を低減することができたほか、早期解決につなげることができた。また、産業廃棄物処理シス テム健全化促進事業においては、排出事業者等講習会の実施等により、廃棄物の適正処理の推進のための排出事業者等の意識を高めるこ とができた

・また、排出量が高止まりしている一般廃棄物への取組と産業廃棄物の適正処理の徹底に対する施策を計画的に取り組んでいくため、平成27 年度に策定した宮城県循環型社会形成推進計画(第2期)の達成に向け、次年度以降の大学との連携事業や新たな評価手法の検討等、重 点的な取り組みに対する方向性を明らかにした。

・以上の事業実施により、廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進に一定の成果があったと判断している。

・しかし、全体としては改善傾向にあるものの、一般廃棄物排出量の高止まりの回復が緩やかなこと等、目標指標の達成率が改善されず、施策 の効果が未だ震災の影響等により現れていないため、本施策については「やや遅れている」と評価する。

※ 評価の視点: 目標指標等,県民意識,社会経済情勢,事業の実績及び成果等から見て,施策に期待される成果を発現させ ることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での記	課題と対応方針 (原案)
課題	対応方針
べ減ってきているものの震災前に比べると依然多く, 高止まりの状況が続いている。また, 廃棄物等の3Rに対する県民意識は高いものの, 環境保全活動や環境にやさしい商品を選ぶなどの一歩踏み出した行動にはなか	・平成27年度に策定した宮城県循環型社会形成推進計画(第2期)では、 震災後の廃棄物排出量の高止まりや資源物混入の問題、産業の再構築 による廃棄物の排出量や質の変化の問題等の多くの課題を整理し、6の 重点課題とその他10の課題を掲げて、県民・事業者・民間団体・教育研究 機関・行政の各主体ごとの取組を示し、課題解決に向けて平成28年度から取り組んでいる。 ・新たな計画に基づく施策を展開するため、啓発事業を市町村や事業者 等と連携して実施する。 ・市町村に対する支援を継続的に実施し、3R施策の充実を目的とし市町 村等3R連携事業等を推進する。
術の導入が不十分であり、今後一層、技術開発及び設備導入への支援 が必要である。特に、平成25年度に施行された小型家電リサイクル制度の	・事業者に対するリサイクル技術開発・設備導入に係る支援の拡充を図る。 ・平成28年度に実施した県内の小型家電や食品廃棄物の賦存量調査を基に、小型家電リサイクルや食品循環資源リサイクルの促進のため、県直営の産学官連携事業(循環型社会構築システム大学連携事業)や最終処分・二酸化炭素排出等を無くす試み(ゼロ・エミッション)を評価する「みやぎの評価手法」の検討、食品ロスを低減するための意識醸成に向けた取組等を行うことにより、今後のリサイクル関連施策の展開につなげる。
続いているほか、工場や事業場の産業活動がより活発化してきたことなどもあり、依然として不法投棄案件も発生している。また、産業廃棄物の排出	・不法投棄は早期発見により自然環境や生活環境への影響を最小限にとどめることができることから、その防止のための啓発や監視活動を継続的に実施する。また、産業廃棄物実態調査や廃棄物処理施設の立入検査等の機会を十分に活用し、発生する廃棄物やその処理の状況把握を行い、適正な処理について指導等を行う。 ・環境産業コーディネーターによる循環資源としての廃棄物の活用ニーズの把握に努め、廃棄物の3Rや適正処理を推進する。
・廃棄物処理過程の透明性向上に向けて構築してきたシステムを的確に活用し、産業廃棄物の適正処理の推進について積極的に取り組む必要がある。	・各所属が個別に保有していた産業廃棄物処理業者や施設等の情報をデータベース化したシステムを活用し、各所属でリアルタイムに情報を把握することにより適切な監視指導を行っていく。また、産業廃棄物処理実績についての電子報告の推進や電子マニフェストの活用促進等を行い、産業廃棄物処理の透明化を推進する。さらに、データベースシステム化されていない自動車リサイクル法の登録・許可業者情報についても今後システム化することで、監視指導のより一層の強化を図る。

平成28年度

政策 11 施策 28

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値ー初期値)/(目標値ー初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値ー実績値)/(初期値ー目標値)

		ことを目標とする	5指標:(1	初期値一	美頹他)	/(初期1	直一目標	<u>(</u> 但)					
	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	1150					
	県民一人一日当たりの一般廃 棄物排出量(g/人・日)	指標測定年度	H19	H25	H26	H27	H28						
1	[目標値を下回ることを 目標とする指標]	目標値	-	955	943	930	980	1100	1				
	宮城県循環型社会形成推進 計画	実績値	1,073	1,025	1,015	1,007	-	1050					
		達成率	-	40.7%	44.6%	46.2%	-		'				
	・平成28年度までは、型社会形成推進計画」 票値の・第1期の「宮城県循環 に、計画期間を平成28 め、平成28年度以降の て設定した。	の平成27年度目標型社会形成推進記 年度から平成32年	票値930g/ 十画」が平 と度までとっ	人・日を根 成27年度 よる第2期	!拠とした。 で終期を過 の計画を第	迎え, 平成: 育定した。	28年3月 そのた	1000				<u> </u>	<i>^</i>
	・東日本大震災以降, 外の一般廃棄物の排といものの3年連続減少。 ・平成27年度の実績値 一等の傾向が認められる。 業系排出業が308g/人なっている。事業系一 でいるものの前年度に (※1人1日当たりのごる	出量は大幅に増加 しており,減少傾向 は,1,007g/人・日 。生活系排出量が ・日(平成26年度に 投廃棄物は事業活 比べ増えている市	し高止まり 」がみられる であり,前 699g/人・ よ309g/人 動の変動 町村も多い	の傾向がる。 年度に比 日(平成2 ・日)で, に伴い増 いことから いことから	続いていた べ8g/人・ 6年度は70 E活系でよ 減が見られ 或少幅が月	たが,減少 日減少して 06g/人・日 り大きな減 い,全体とし いさくなって	幅は小さ (おり, 改)で,事 (少幅)と て減少し (いる。	950		ı	*	1	
値4	・平成27年度の全国平 また,本県の状況は, か近隣 県等と い比較				比べ9g/人	・日減少し	<i>、</i> ている。		H19	_	H26 ◆= 目 ■ 実	標	H28 国)
	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	35%					
	一般廃棄物リサイクル率(%)	指標測定年度	H19	H25	H26	H27	H28	30%		^-	→ -	- - \$	
2	[フロー型の指標]	目標値	-	28.9%	29.5%	30.0%	27.1%			_		- ◇、 ■	*
	宫城県循環型社会形成推進計画	実績値	24.0%	25.0%	25.6%	26.0%	-	25%					
		達成率	-	86.5%	86.8%	86.7%	-	20%					
	・平成28年度までは、 ⁵ 型社会形成推進計画」 票値の ・第1期の「宮城県循環 に、計画期間を平成28 め、平成28年度以降の た。	の平成27年度目標型社会形成推進記 年度から平成32年	票に掲げた 十画」が平 上度までとっ	日標値30 成27年度 よる第2期)%を根拠と で終期を近 の計画を第	:した。 ①え, 平成: 食定した。	28年3月 そのた	15%					
	・平成27年度は、26.0% イクル量の把握につい 事業者によるリサイクル ※宮城県のリサイクル	て積極的に取り組 全が増加し平成2 率は、民間事業者に	む市町村: 6年度に比 こよるリサイ	が増えてい ごべてリサッ イクル量を	いることから イクル率は 含む。	o, 全体とし 改善してい	て民間	.10% 5%					
值4	・全国平均には、民間: 廃棄物のリサイクル率。 ・国への報告は、市町: 団回収した量からリサール業者に搬出した量を ・平成27年度の県の平 ている。	と直接比較できない 付がリサイクル業者 イクル率を算出して 含んでいるため,」	`。 ・や再生利 いるが, 県 県によるリ [・]	用する中 はこれに サイクル率	間処理業績加えて事業 は高くなっ	者に搬出し 業所が直接 っている。	た量と集 きリサイク	0%	H19	-		H27 目標 実績 参考(全	H28 国)

平成28年度

政策 11 施策 28

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値ー初期値)/(目標値ー初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値ー実績値)/(初期値ー目標値)

								1				
	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	12500				
	産業廃棄物排出量(千トン)	指標測定年度	H19	H25	H26	H27	H28	12000				
3	[目標値を下回ることを 目標とする指標]	目標値	ı	11,450	11,450	11,450	10,667	12000				
	宮城県循環型社会形成推進 計画	実績値	実績値 11,172 11,168 11,997 10,576				-	11500		<i></i> ♦	० १ ०	
		達成率	1	102.5%	95.2%	107.6%	-	11000	-	-4	<i>\'</i>	`
	 ・平成28年度までは、予型社会形成推進計画」 ・第1期の「宮城県循環に、計画期間を平成28 め、平成28年度以降の 	の平成27年度目標型社会形成推進記 年度から平成32年	票に掲げた 十画」が平。 度までとっ	- 目標値11 成27年度 よる第2期の	,450千トン で終期を近 の計画を第	//年を根拠 型え,平成 受定した。	処とした。 28年3月 そのた	11000			7	<i>?</i>
	て設定した。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			,							
	 ・平成27年度の宮城県少し目標値を達成した。 ・平成27年度は、下水ができたことから、建設等 	。 道の復旧により下z からのがれき類等	k汚泥の量 の排出量	量が増えた が約1,455	ものの, 復 :千トン減少	「興事業の ひとほか	ピークが , 製造業	10000				
	業廃棄物排出量は減少	かしている。				,		9500	H19	H25 I	H26 H27	H28
値 他!	平成26年度の全国のいる。や近隣県等とり比較	状况は, 3億9,284	カトンとな	り,丽牛皮	に比べ約	8白 カトン1	増加して					目標 実績
	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	50%				
	産業廃棄物リサイクル率(%)	指標測定年度	H19	H25	H26	H27	H28	45%	,	<u> </u>		
4	[フロー型の指標]	目標値	-	30.5%	30.7%	31.0%	35.0%	40%				
	宮城県循環型社会形成推進 計画	実績値	29.9%	44.0%	42.0%	40.2%	-	35%	$\int_{-\infty}^{\infty}$	^	>>	, • \
		達成率	-	144.3%	136.8%	129.7%	-	25%			,	
	・平成28年度までは、平型社会形成推進計画」 ・第1期の「宮城県循環に、計画期間を平成28 め、平成28年度以降のした。	の平成27年度目標型社会形成推進記 年度から平成32年	票に掲げた 十画」が平。 度までとっ	エ目標値31 成27年度 [*] する第2期の	%を根拠と で終期を近 の計画を第	した。 Dえ, 平成 き定した。	28年3月 そのた	20% -				
	・平成27年度の実績値 ・平成27年度は、復興・ 少し、比較的リサイクル 度に比べ1.8ポイントの	事業がピークを過ぎ されやすいがれき 低下となった。	の排出量	が減少した	こことから,	リサイクル		0%	H19 H	25 H	26 H27	H28
	・平成26年度の全国の事平均・ 中が隣	状況は,53.3%で,	前年度に	比べ0.1ポ	イント低下	している。					-	
他!	果等とり比較										— = —- 実	

平成28年度

政策 11 施策 28

宮	城の)将来ビジョン	推進事業												
評価番	事業番	事 業 名	平成28年度 決算見込額 (千円)	事業の状況											
号	号	事業主体等	特記事項												
			非予算的手法		事業権		カ担して	デカの	平成28年度の実施状況・成果)分別及び減量を共通テーマとし、共通テーマ						
1	1	市町村等3R連携 事業	-	ワークショップ 開催し, 3R	ワークショップ, みやぎの3R推進連絡会議等を にっています。 は、 マミ 関催し、3Rの推進に取り組む市町村及び事業 者を支援する。 は					や事業系ご。 等を行うワー に結果を取り 用すべく報行 果長会議に	みの問題等 ークショップ りまとめ,今行 告書を作成 おいて発表 一部事務組	を個別テー を3回開催 後の各市町 するととも を行った。			
		環境生活部				D分析結果 ③効率性	次年度の	方向性	年度	医別決算(身	見込)額(千	円)			
		循環型社会推進			ある程度				H26	H27	H28	H29			
		課		妥当	成果があっ た	_	維持	Ħ.	-	-	-	-			
2	3	みやぎ産業廃棄 物3R等推進設備 整備事業	201,307	物の発生抑	物の発生抑制・再資源化等に係る設備・機器等の整備を支援する。 事業の分析結果					平成28年度の実施状況・成果 多様な廃棄物に対応するための風力選別機や の堆肥化のための破砕機の導入など、計14件 に対して補助を行った。					
		環境生活部		①必要性						年度別決算(見込)額(千円)					
		環境政策課		妥当	成果があっ	効率的	維持		H26	H27	H28	H29			
		垜 児以 欠 床		安ヨ	た		术臣1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	30,273	114,994	201,307	-			
				产	事業 権 物の再使用及		产类皮	•7	平成28年 一粕を原料。		が祝・成身 ト制造に向り				
3		再生資源等有効 活用推進事業	2,638	棄物に由来 業廃棄物の るため,リユ	する再生資源 発生抑制や最 ースシステムの などに取り組む	の利活用を追 終処分量の の構築やリサイン事業者に対	生め,産 軽減を図 イクル製		計4件の事						
		環境生活部		① 必要性	事業の ②有効性	D分析結果 ③効率性	次年度の	方向性	年度	医別決算(身	見込)額(千	円)			
		環境政策課		妥当	成果があっ	効率的	維持		H26	H27	H28	H29			
		垜 児以 欠 床		安ヨ	た	勿 举的	术臣1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1,771	483	2,638	-			
				技術的な割	事業権		難マけ淮	食品系	平成28年		が況・成男 シトの最適な				
4	5	3R新技術研究開 発支援事業	33,295	んでいたい	廃棄物に関す ついて研究開	ス重資源化学	このため	新規排	水処理技術を行った。						
		環境生活部		①必要性		D分析結果 ③効率性	次年度の	方向性	年度	長別決算(身	見込)額(千	円)			
		T== 1-4-7-1-1-1-1			成果があっ				H26	H27	H28	H29			
		環境政策課		妥当	た	効率的	維持	守	12,296	20,638	33,295	-			

					事業机	班 亜			亚成28名	E 使の宝성	ॼ状況・成身	■		
				3R推進の	仕組みづくりゃ		ネルギー	企業計				№ 00社(見込		
	6	┃ 環境産業コーディ	22,224	の普及を促済		内企業等に			00 E () L					
	6	ネーター派遣事業		ターを派遣し、地域や企業の各々の実態に応じた低炭素化を進める。										
5				70100//01/10	2,2-> 00									
٦					重 業(の分析結果								
		環境生活部		①必要性	<u> </u>		次年度の	方向性	年度	₹別決算(<u>)</u>	見込)額(刊	-円)		
		-m + -1 ++ -m			成果があっ	1.1 -t- 1.1			H26	H27	H28	H29		
		環境政策課		妥当	た	数率的	維持	守	20,348	22,795	22,224	-		
			非予算的手法		——————— 事業相	L 既要			平成28年	■ ∓度の実施	■ 5状況・成身	 果		
					者の3R等の取									
	7	エコフォーラムの	_		ごとの推進組 する。	織(エコフォー	-フム) 構				提供やセミラ 計60件(見)			
		展開							ラム開催を					
6														
		環境生活部		1 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		の分析結果	1,5,5,5,0		年度	₹別決算(∫	見込)額(升	(円)		
			(①必要性		③効率性	火牛度0.)力问性	H26	H27	H28	H29		
		環境政策課		妥当	成果があった	_	維持	寺	_	-	-	-		
				产業 皮 蚕 A	事業 権		の政系の	产業			・ 成り 実績報告の	•		
		 産業廃棄物処理		廃棄物処理	の透明性を高			率 ⇒	処理業者の	64% (2,565	件)	电】拟口		
	8	システム健全化促	5,122	施する。					事業者等講習		(3回) -の実施(3回	司)		
١,		進事業						,	> => 1(1)	XII = ()	*>) </td <td>→/</td>	→ /		
7					古安/	の分析結果								
		環境生活部		①必要性		3効率性	次年度の	方向性	年度	₹別決算()	見込)額(刊	-円)		
		┃ 循環型社会推進			ある程度				H26	H27	H28	H29		
		課		妥当	成果があった	効率的	維持	寺	5,862	4,790	5,122	-		
		DA.		**					0,500 1,710 0,7121 平成28年度の実施状況・成果					
					事業概	既要			平成28年	年度の実施	世状況•成身	¥		
		 産業廃棄物不法			勿の不法投棄	等の早期把握		・ラジオ	広報, スカィ	イパトロール	, 不法投棄	坊止啓発巡		
	9	産業廃棄物不法 投棄監視強化事	11,018	かれのもみ	かの不法投棄	等の早期把握		回広報,	広報, スカィ , 監視カメラ	イパトロール の設置等を	, 不法投棄	防止啓発巡 法投棄の早		
	9		11,018		勿の不法投棄	等の早期把握		回広報,	広報, スカィ , 監視カメラ	イパトロール の設置等を	, 不法投棄 実施し, 不済	防止啓発巡 法投棄の早		
8	9	投棄監視強化事業	11,018	かれのもみ	物の不法投棄の監視強化や を実施する。	等の早期把扱 不法投棄防」		回広報,	広報, スカィ, 監視カメラ , 監視カメラ , 防止に向い	イパトロール の設置等を けた啓発活!	, 不法投棄[字施し, 不注動を行った。	防止啓発巡 法投棄の早		
8	9	投棄監視強化事	11,018	かれのもみ	物の不法投棄 の監視強化や を実施する。 事業 6	等の早期把扱 で不法投棄防」 の分析結果	止に向け	回広報, 期把握,	広報, スカィ, 監視カメラ, 防止に向に	イパトロール の設置等を けた啓発活!	, 不法投棄 実施し, 不済	防止啓発巡 法投棄の早		
8	9	投棄監視強化事業	11,018	防止のためのためのた広報活動:	かの不法投棄 の監視強化や を実施する。 事業6 ②有効性 ある程度	等の早期把提 で不法投棄防」 の分析結果 ③効率性	上に向け 次年度の	回広報, 期把握,	広報, スカィ, 監視カメラ, 防止に向に	イパトロール の設置等を けた啓発活!	, 不法投棄[字施し, 不注動を行った。	防止啓発巡 法投棄の早		
8	9	投棄監視強化事業 環境生活部	11,018	防止のためのためのためでは、た広報活動を	物の不法投棄 の監視強化や を実施する。 事業6 ②有効性	等の早期把提 で不法投棄防」 の分析結果 ③効率性	止に向け	回広報, 期把握,	広報, スカィ, 監視カメラ, 防止に向に 年度	(パトロール の設置等を ナた啓発活! 医別決算 (!	,不法投棄[実施し,不注動を行った。 動を行った。 見込)額(干	防止啓発巡 法投棄の早 -円)		
8	9	投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進	11,018	防止のためのためのた広報活動:	かの不法投棄の監視強化やを実施する。 事業6 ②有効性 ある程度 成果があっ	等の早期把扱 で不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的	上に向け 次年度の	回広報, 期把握,	広報, スカィ : 監視カメラ : 防止に向い 年度 H26 6,157	(パトロールの設置等を 力た啓発活! E別決算 (1 H27 7,394	,不法投棄i 実施し,不決動を行った。 見込)額(干 日28	防止啓発巡 法投棄の早 円) H29		
8	9	投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進	11,018	防止のためらた広報活動: ①必要性 妥当	物の不法投棄の の監視強化や を実施する。 事業6 ②有効性 ある程度の 成果があった 事業材 を	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 既要 推進計画を推	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回広報 期把握 ゥ方向性 ・平成28	広報、スカィ ・監視カメラ ・防止に向い 年度 H26 6,157 平成284 8年3月に策	(パトロールの設置等を 力た啓発活! E別決算 (1 7,394 手度の実 が 定した第2期	,不法投棄i 実施し,不i 動を行った。 見込)額(モ 11,018 正状況・成 身 明循環計画	防止啓発巡 法投棄の早 -円) H29 - R		
8	9	投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進	11,018	防止のためで た広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの啓発事	かの不法投棄の の監視強化や を実施する。 事業6 ②有効性 ある程度の た 事業材	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 で要 作進計画を推 気のリサイクルシ	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回広報 期把握 ウ方向性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ン ク ・ り ー ン り ー こ ン り ー ン り ー ン り ー ン り ー ン り ー ン り ー ン り ー ン り ー ン り ー ン り ー こ ン り ー ン り ー ン り ー こ と り ー ン り ー こ ン り ー こ り こ り こ り こ り こ り こ り こ り こ り し こ ン り こ ン り こ ン り こ り こ り こ り こ り し こ ン り こ ン り こ ン り こ こ ン り こ こ こ ン し ー こ ン り こ こ ン り こ こ こ り こ こ こ こ こ こ こ こ こ	広報,スカィ 島監視カメラ 防止に向い 年度 H26 6,157 平成284 3年3月に策タ・ ルでは、県	(パトロールの設置等を 力た啓発活! E別決算 (1 H27 7,394 丰度の実が 定した第2期 内の小中学	,不法投棄i 実施し,不活動を行った。 見込)額(干 H28 11,018 近状況・成身 明循環 計画 に を全校に第	坊止啓発巡 生投棄の早 - 円) H29 - パンフ ー 第2期計画		
8	9	投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進	11,018	防止のためで た広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの啓発事	物の不法投棄のの不法投棄の監視強化やを実施する。 事業位 ②有効性 ある程度の成果があった 事業材 数型社会形成携	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 で要 作進計画を推 気のリサイクルシ	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回広報 期把握 寺 ・平成20 かレコンクー の「みそ	広報、スカィ ・監視カメラ ・防止に向い 年度 H26 6,157 平成284 3年3月に乗り ・ルででは、東シ ・アがの3RJを)	(パトロールの設置等を 力た啓発活! E別決算 (1 H27 7,394 下度の実が 定した第2期 内の小中学 問知する募	,不法投棄i 実施し,不法 動を行った。 見込)額(干 H28 11,018 匹状況・成 近れ 近れ 変換を全校にに 集チラシを 集チラシを	坊止啓発巡 生投棄の早 - 円) H29 - パンフ ー 第2期 計 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1		
8	9	投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進	11,018	防止のためで た広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの啓発事	物の不法投棄のの不法投棄の監視強化やを実施する。 事業位 ②有効性 ある程度の成果があった 事業材 数型社会形成携	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 で要 作進計画を推 気のリサイクルシ	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回期把握 ・・マットクーペークース ・でいた。 ・でいた。	広報,スカィ ・監視カメラ ・防止に向い ・ 年度 ・ H26 ・ 6,157 ・ 平成28 ・ 3年3月にター県をかでで3RJにみずいの3RJによりによる。 ・ での3RJによりによる。 ・ での3RJによりによる。 ・ では、これによった。 ・ では、これによった。 では、 では、 では、 では、 では、 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。 でき。	ペトロールの設置等を 力た啓発活! E別決算(! H27 7,394 F度の実が 定した第2期 一内知ずる。 市知のする。 市別のする。 市別のする。 市別のする。 市別の手を、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	, 不法投棄i, 実施し, 大変i, 実施し, た。	坊止啓発巡 法投棄の早 - 円) - H29 - ペンフター 第27 (記) 第2		
8		投棄監視強化事業環境生活部循環型社会推進課		防止のためでた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事	物の不法投棄のの不法投棄の監視強化やを実施する。 事業位 ②有効性 ある程度の成果があった 事業材 数型社会形成携	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 で要 作進計画を推 気のリサイクルシ	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回期 一 方 向性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	広報、スカイ ・監視カメラ ・防止に向い ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ペトロールの設置等を けた啓発活! 麦別決算(! H27 7,394 車度の実が 定しンルトラートリカーの知った。 下の知った。 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	,不法投棄所 実施し、た。 見込)額(子 ・ H28 ・ 11,018 ・ 大沢・成野 ・ 大沢・大野 ・ 大大環 ・ 大変 ・ 大変 ・ 大変 ・ 大変 ・ 大変 ・ 大変 ・ 大変 ・ 大変	坊止啓発巡 法投棄の早 一円) H29 - 第2期 127 - 第2期 127 - 第2前 127 大選生自け な選生自って		
8	9	投棄監視強化事業環境生活部循環型社会推進課	11,018	防止のためでた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事	物の不法投棄のの不法投棄の監視強化やを実施する。 事業位 ②有効性 ある程度の成果があった 事業材 数型社会形成携	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 で要 作進計画を推 気のリサイクルシ	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回期 ・ 方向性 ・ 平小ケーペート・ でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう でんしょう でんしょ かんだん アイス かんがく かんがく かんがく かんしょう かんしょう はい かんしょう はい かんしょう はい	広報、スカイ ・監視カメラ ・防止に向い ・	パトロールの設置等を けた啓発活! E別決算 (! H27 7,394 E度の実が 定した第2月 内の知を秀を下とかーいする作話 作品を含むないます。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	,不法投棄所 実施しった。 見込)額(日 H28 11,018 近状況・成 11,018 近状況・成 東海に定替 集等した、 大変・ 大変・ 大変・ 大変・ 大変・ 大変・ 大変・ 大変・	防止啓発巡 生 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大		
8		投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進課		防止のためでた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事	物の不法投棄のの不法投棄の監視強化やを実施する。 事業位 ②有効性 ある程度の成果があった 事業材 数型社会形成携	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 で要 作進計画を推 気のリサイクルシ	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回期 方向性 ・	広報、スカイメラ ・監視カメラ ・防止に向い 年度 H26 6,157 平成284 8年3月にみずいの3RJでの3RJでの3RJでの3RJでの3RJでの3RJである。 かどのかずに、をのかができたいである。 がでいましたがでいます。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでのない。 は、またいでいるいでは、また	(パトロールの設置等を対している) できる できます できます できます できます できます できます できます できます	,不法投棄所 実施しった。 見込)額(日 H28 11,018 近状況・成 11,018 近状況・成 東海に定替 集等した、 大変・ 大変・ 大変・ 大変・ 大変・ 大変・ 大変・ 大変・	坊 止 啓 発 巡 早		
		投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進課		防止のためでた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事	物の不法投棄のの不法投棄の監視強化やを実施する。 事業位 ②有効性 ある程度の成果があった 事業材 数型社会形成携	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 で要 作進計画を推 気のリサイクルシ	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回期 ・ 方向性 ・ レコの点彰のい来・リカの点彰のい来・リカのはで、 アルトラー・ アルトラー・ アルトラー・ アルトラー・ アルトラー・ アルトラー・ アルトラー・ アル・カー・ アル・カー・カー・ アル・カー・ アル・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	広報、スカット 底報、スカット に記視カメラー に防止に向い 年度 H26 6,157 平成284 8年3月ポペは、Pぎ係らい。 等での3R」からり賞作のない。 ないと、学になった。 いと、生け、他のない。 には、中でのない。 は、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中	(パトロールの設置発活! を別決算(リールを) (リールの設置発活! を別決算(リールの) (リールの) (東 (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9			
		投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進課		防止のためでた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事	物の不法投棄のの不法投棄の監視強化やを実施する。 事業位 ②有効性 ある程度の成果があった 事業材 数型社会形成携	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 で要 作進計画を推 気のリサイクルシ	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回期 ウ方	広報、スカット 底報、スカット に記視カメラー に防止に向い 年度 H26 6,157 平成284 8年3月ポペは、Pぎ係らい。 等での3R」からり賞作のない。 ないと、学になった。 いと、生け、他のない。 には、中でのない。 は、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でのない。 にいい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中でい、中	パトロールの設置発活! を別決算(! ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	東 (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9			
		投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進課		防止のためでた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事	物の不法投棄のの不法投棄の監視強化やを実施する。 事業位 ②有効性 ある程度の成果があった 事業材 数型社会形成携	等の早期把握 ア不法投棄防」 の分析結果 ③効率性 効率的 で要 作進計画を推 気のリサイクルシ	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回期 ウ方	広報、スカィメラル に 報、スカィメラル に 報、スカィメラル に 前	パトロールの設置発活! を別決算(! ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	東 (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9			
		投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進課		防止のためでた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事	物のを実施する。 本独性である。 本教性である。 本教性である。 本教性である。 本教性である。 本のでる。 本のでる。 本のでる。 本のでる。 本のでる。 本の	等の早期把 か不 か か か か か か か か 本 を か か 本 の の の の の の の の の の の の の	止に向け 次年度 の 維排 進するた	回期 ウ方	広報、スカィメラル に 報、スカィメラル に 報、スカィメラル に 前	パトロールの設置発活! を別決算(! ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	東 (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9			
		投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進課		防止のためでた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事	物のを実施する。 **(2) おりまから **(2) おりまから **(2) おりまから **(2) おりまから **(3) おりまから **(4) お	等の早期把 の の の の の の の の の の の の の	止に向け 次年度の 維 推進 のた	回期 方 寺 ・レコの点彰のい来・リの循取 広把 佐 ・	広報,スカスカスカスカスカスカスカスカステート	の計画を表す。 「中ででは、	東 (1) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	防止啓発の 大出東 大出東 大出東 大出東 大出東 大出東 大出東 大出東		
		投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進 リスター トルカル事業 環境生活部		防止のためたた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事 めの調査事	あの の の の を ま 本 で で を ま で で で で で で で で で で で で で	等の早期把 か不 の の の の の の の の の の の の の	上に向け 次年度の 維注 進するた 推進のた	回期 ウカ 寺 ・レコの点彰のい来・リの循取 ウカ 内	広報,スカスカスカスカスカスカスカスカステート	の計画を表す。 「中ででは、	来法投来(千年) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	防止啓発の 大出東 大出東 大出東 大出東 大出東 大出東 大出東 大出東		
		投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進 関スタートみ事業		防止のためたた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの啓査事	あのを実施する。 本でである。 本ででする。 、 本ででする。 本ででする。 本ででする。 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 本ででなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで	等の早期把 の の の の の の の の の の の の の	止に向け 次年度の 維 推進 のた	回期 ウカ 寺 ・レコの点彰のい来・リの循取 ウカ 内	広報,スカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカ	(パトロールを) は (リール で)	、実動を行う。 ・実動を行う。 ・表し、一体集等した。 ・一体集等した。 ・一体集等した。 ・発生のでは、一体のでは、			
	10	投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進 リスタートルチン・ の3R推進部 循環型社会推進 に対している。 でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででできる。 ででである。 でである。 ですである。 でである。 ですである。 ですである。 ですである。 ですである。 ですである。 ですである。 でである。 ですである。 でである。 ですである。 ですである。 ですでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	10,634	防止のためたた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環事故のの調査事 のの調査事	あの の の の を ま 本 で で を ま で で で で で で で で で で で で で	等の早期把 か不 の の の の の の の の の の の の の	上に向け 次年度の 維注 進するた 推進のた	回期 ウカ 寺 ・レコの点彰のい来・リの循取 ウカ 内	広報,スカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカ	(パトロールを) は (リール で)	 不法投棄 未接し、 表し、 利益 (日本) 日本 (日本) 日本			
9	10	投棄監視強化事業 環境生活部 循環型社会推進 リスター推進事業 の3R推進部 循環型社会推進		防止のためたた広報活動: ①必要性 妥当 第2期循環めの調査事 めの調査事	あのを実施する。 本でである。 本ででする。 、 本ででする。 本ででする。 本ででする。 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 、 本ででする。 本ででなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで	等の早期把 か不 の の の の の の の の の の の の の	上に向け 次年度の 維注 進するた 推進のた	回期 ウカ 寺 ・レコの点彰のい来・リの循取 ウカ 内	広報,スカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカスカ	(パトロールを) は (リール で)	 不法投棄 未接し、 表し、 利益 (日本) 日本 (日本) 日本			

平成28年度

政策 11 施策 28

取	組に	二関連する宮坎	成県震災征	复興推進	事業									
評価番	事業	事業名	平成28年度 決算見込額 (千円)	事業の状況										
番号	番号	事業主体等	特記事項											
1		みやぎの漁場再 生事業	373,102	用い、津波に		既要 こ分け, 起重様 注積したがれき	等を撤	を使用し 作業を征	漁場周辺など して, 津波に 行った。	沿岸漁場により漁場により漁場により	E 状況・成身 こおいて, 起 唯積したがれ ㎡のがれきを	重機船等 いきの撤去		
		農林水産部		①必要性	事業の ②有効性	D分析結果 ③効率性	次年度の	方向性	年度	医別決算(身	見込)額(千	円)		
		水産業基盤整備 課	震災復興 4③ ❶	妥当	成果があっ た	概ね効率的	維持	持	H26 398,732	H27 370,266	H28 373,102	H29 -		
	決算	(見込)額計	373,102											
決算	(見辽	込)額計(再掲分除き)	373,102		-	_						·		